

目 次

・長時間労働を規制するのは労働組合に課された社会的使命	2
第1章 過労死・過労自殺をなくすために	
何が労働者を追いつめるのか／労働現場の取材から	
中部 剛(神戸新聞社記者)	6
労働時間の適正な把握が急務／40年間過労死問題に取り組んで	
松丸 正(過労死弁護団全国連絡会議代表幹事)	14
31歳のNHK記者が過労死／なぜ4年間も事実公表されなかったのか	20
教職員の長時間労働の解決を／持続可能な教育を実現するための課題	
藤川 伸治(前・日教組組織労働局長)	25
※連合総研 教職員の働き方調査から	29
第2章 職場を変える取り組み事例	
勤務間インターバル規制で過労運転を防ぐ(全自交労連北海道地連)	32
労働安全衛生委員会で時間外の縮減を徹底(ライフ労働組合)	34
勤務間インターバル11時間を制度化(イズミヤ労働組合)	36
不払い残業代3億9千万円を支払わせた(気仙沼市職労)	38
青年部が労働時間や働き方で独自要求(日向市職労)	40
36協定を労働者の“武器”に(キッコーマン労働組合)	42
残業代に頼らなくても生活できる賃金を(JAM)	44
第3章 職場で使えるチェックリスト	
・時間外労働に関するチェックポイント	48
・心身の疲労に関するチェックポイント	50
・労働時間管理に関するチェックポイント	53
第4章 徹底批判 安倍政権「働き方改革」	58
第5章 統計データでみる長時間労働とこころの病	68